

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：25512
学校名：平岡中央小学校

改訂のポイント

- 「課題探究的な学習」を実現する授業作り
- 家庭や地域と連携した取組の推進

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ・向上心をもち続け、たくましく生きる子 ～難しいことにも挑戦する意欲を伸ばす ・自分の考えをもてる子～「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身に付けられるようにする 		
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	【昨年度の具体的な取組】 ○学ぶ意欲を喚起する学習課題の設定や学習展開の工夫	【成果】 ⇒みんなで話し合ったり、協力したりしながら、課題や問題の答えを出そうとする子の割合が増加した。	【課題】 ◇授業中、進んで発表することができた実感できた子の割合が低い。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 ○認め合いと対話を大切にし、学び合いを促すことで、より深い学びにつなげていく学習活動の充実	【成果】 ⇒授業中に、友達の意見を終わりまで聞いたり、意見の違う人とよく話し合おうとしていたりしている子の割合が高い。	【課題】 ◇自分の考えを相手によく伝えるために工夫したり、振り返ったことを次に生かしたりしていくことに課題がある。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 ○朝の習熟タイムや・漢字計算コンテストへ向けての意欲化 ○宿題や家庭学習の取組など家庭への働きかけ	【成果】 ⇒標準学力検査の結果から、国語と算数の「知識・技能」の観点から、どの学年も全国平均を上回るようになった。	【課題】 ◇宿題や家庭学習を忘れず丁寧に取り組むことができた子が減少した。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 互いの良さや可能性を発揮できる取組		
	具体的な改善策（取組）	○各教科において、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させた学習を展開できるように、課題探究的な学習の実現に向けた教材研究に取り組む。 ○朝の習熟タイムの実施・漢字計算ドリルの活用・漢字計算コンテストへ向けての意欲化等を行いながら、基礎学力の向上を図る。 ○認め合いと対話を大切にし、時と場に応じた学び合いを促すことで、より深い学びにつなげていく。 ○さっぽろっ子「学び」のススメを活用し、家庭学習や宿題の取組について家庭への働きかけを行っていく。 ○中学校校区間で連携をとり、授業交流を行いながら「小中一貫した教育」を推進する。 ○一人一台のタブレットを活用した授業を工夫していく。（タブレットを活用した学習のカリキュラム化を図る。） ○家庭や地域と連携をとりながら、開かれた学校づくりを目指す。		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○日常のテスト・ノート・カード・学習状況の観察などを、各教科等の評価規準に基づき評価した結果を活用する。 ○全国学力・学習状況調査や札幌市全体の共通指標、標準学力検査、知能検査の調査結果を分析・活用する。 ○札幌市の「学習などについてのアンケート」「ICTの活用についてのアンケート」の結果を中学校区で共有し活用する。		